

今月の

5冊



永寿総合病院看護部が書いた 新型コロナウイルス感染症 アウトブレイクの記録

高野ひろみ、武田聡子、松尾晴美＝著
定価：1980円（本体1800円＋税）
発行：医学書院 ☎03-3817-5650

職員83名、患者109名が感染した病院でのアウトブレイク——病棟の閉鎖、人員減少による業務負担増加、感染への不安など、急速に状況が変わる中、看護師たちは対策を進め、情報を共有し、患者と家族に対応し、日常の看護を守ろうとした。緊迫した看護師の実体験を漫画でつづる、新型コロナウイルス感染症対応の記録。

格差時代の医療と社会的処方 病院の入り口に立っていない人々を支える SDH（健康の社会的決定要因）の視点

武田裕子＝著

定価：3520円（本体3200円＋税10%）

発行：日本看護協会出版会 ☎0436-23-3271



日本はかつて所得格差も少なく、健康指標の面でもおしなべて優れているとされてきた。しかし状況は大きく変化。患者と接する職種には、疾患への対処だけでなく、背後に存在する困難に気づき地域資源とつなぐ役割が求められる。本書ではSDHの概要に加え、地域でのさまざまな実践も紹介。新たな視点の共有を目指す。

おとずれナース 精神科訪問看護とこころの記録

のまり＝著

定価：1100円（本体1000円＋税10%）

発行：ぶんか社 ☎03-3222-5115



さまざまな「こころの病」を抱える患者たちの自宅を訪問してサポートする精神科訪問看護師。「患者ともっと向き合いたい」と訪問看護の世界に飛び込んだ看護師の小林が、うつ病、統合失調症、双極性障害、境界性パーソナリティ障害などの患者やその家族の生活を手助けする姿を、現役看護師である著者が漫画で描く。

みんな水の中

「発達障害」自助グループの文学研究者は
どんな世界に棲んでいるか

横道 誠＝著

定価：2200円（本体2000円＋税10%）

発行：医学書院 ☎03-3817-5650



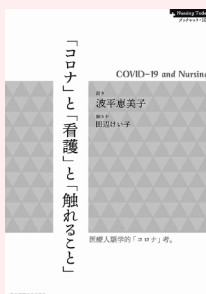
40歳でASD（自閉スペクトラム症）とADHD（注意欠如・多動症）を診断された大学教員が、「発達障害」の先人の研究を引用しながら、自身をとりまく不思議な世界を語る。入り乱れる感情に翻弄され、昼夜問わず「地獄行きのタイムマシン」に乗せられる中、救ってくれたのは文学と芸術、そして仲間だった。発達障害の新たな当事者研究。

〈Nursing Todayブックレット〉 「コロナ」と「看護」と「触れること」 COVID-19 and Nursing

波平恵美子＝語り 田辺けい子＝聞き手

定価：825円（本体750円＋税10%）

発行：日本看護協会出版会 ☎0436-23-3271



日本の医療人類学の第一人者で、長年にわたり看護教育に携わる波平氏が、コロナ禍において看護のあり方はどのような影響を受けているのか、今後看護はどのように変化していくべきなのかについて語る。そしてあらためて、「本当に患者の求めている看護とは」と問いつけることで、現代の「看護の本質とは何か」に迫る。